

第1回生駒市立病院管理運営協議会 議事録要旨

- 日時 平成27年9月7日（月）午後9時00分から午後11時30分
- 場所 生駒市立病院 7階講堂・交流センター
- 出席者
 - (1) 会員 小紫 雅史、今村 正敏、成田 研二、飯田真理子、前野見依子、原田 保司、藤澤 清二、藤堂 宏子
 - (2) 事務局 【生駒市】山本副市長、上野こども健康部長、増田こども健康部次長、石田病院事業推進課長、清水病院事業推進課課長補佐、奥野病院事業推進課主査
【生駒市立病院】住友事務長、木下看護部長、漆間事務次長、橋本総務課主任、高見総務課主任

■ 傍聴者数 8名

■ 会議の内容

- 1 開会
- 2 市長挨拶
- 3 会員紹介
出席者名簿順で自己紹介を行った。
- 4 管理運営協議会について
(資料1-4)生駒市病院事業に係る経緯、(資料1-2)生駒市病院事業計画(平成24年9月改定)、(資料1-3)平成27年度事業計画及び(資料1-1)生駒市立病院管理運営協議会設置要綱についてそれぞれ説明を行った。

質疑

- 【藤堂会員】 (資料1-1)管理運営協議会設置要綱第2条にある当協議会の役割について、病院事業計画や基本協定書に定める事業計画等に関して評価し、意見を述べる場と考えてよいか。(病院事業推進委員会と管理運営協議会の役割分担について)
- 【事務局】 病院事業計画の実施状況や協定書に定める事業計画等について意見をいただく場と考えている。また、病院事業計画の見直しについては病院事業推進委員会の専管事項になるが、重要な意見で例えば枠組みの変更等について病院事業計画の改定が必要となれば病院事業推進委員会に諮問し答申を頂くという流れになる。
- 【原田会員】 (資料1-2)生駒市病院事業計画の指定管理者の収支計画表(請負率85%の場合)では経常利益が4年度で黒字、5年度が赤字、6年度が黒字と上下している原因は何か。
- 【事務局】 資料は請負額が決まる前の平成24年9月時点の収支計画シミュレーションで、5年度に赤字になるのは指定管理者負担金の支払いが5年度から発生するためである。
- 【原田会員】 5年度に一括して支払いが発生するのか。
- 【事務局】 一括ではなく、建物の耐用年数が29年であり建物取得価格の9割を29年で割った額を5年度から29年間支払うもの。
- 【原田会員】 (資料1-3)平成27年度事業計画書の(7)医療安全管理に対する取組について、どのように管理しているのか。
- 【今村副会長】 病院に医療安全委員会と院内感染防止対策委員会を設置して安全対策に万全を期している。
- 【藤堂会員】 病院開院後の収支計画は今後会議で提示されるのか。
- 【事務局】 市の収支計画は現在作成中であり、今後会議で提示したい。

5 案件

(1) 開院後の病院運営状況について（報告）

（資料2-1）6月～8月の患者数等について診療科目ごとに外来患者数の推移を報告した。各科目ともおおむね患者数が増加しており、主な要因としては7月から夕方診察の開始、心臓カテーテル装置稼働、小児科の常勤医着任、診療日数の増加等が考えられる。事業計画との対比では外来患者数は想定の半分になっているが、病院のPR不足が主な原因と考えている。

救急件数は生駒市の輪番には入っていないが、市内、市外から受け入れており増加している。

入院患者数も事業計画との対比で想定の半分になっているが、外来患者数の増加に伴い増えてくると思われる。

（資料2-2）人員体制（平成27年8月31日現在）について、6月開院時から常勤医で小児科と放射線科が非常勤医で整形外科と脳神経外科がそれぞれ増えている。看護師は8月1日から新たに7床（9月1日からHCUとして7床）稼働し、来月10月1日に5階の病棟52床オープンする予定で合計158床を稼働させる人員が整っている。薬剤師その他はほぼ予定通りの人員体制が整っている。

（資料2-3）生駒市立病院外来予定表について報告を行った。また、外来予定表とは別に当直体制を敷いており、日替わりで当直医以外に外科医や産婦人科医を呼出せる体制をとって対応している。

質疑

- 【原田会員】 市立病院の職員はみなし公務員となるのか。
- 【事務局】 指定管理者はみなし公務員という位置づけではない。
- 【藤堂会員】 患者の地域別、年齢構成等は把握しているのか。
- 【事務局】 救急患者は市内5割市外5割となっている。外来患者がどの地域から来られているか等についてはカルテから確認し、次回会議には提示できる。
- 【前野会員】 救急の呼出し体制について麻酔科医1名の場合難しいと思うが、どのような体制か教えてほしい。
- 【今村副会長】 救急は1名で対応しており必要に応じて呼出して対応している。現在は麻酔科医1名でも夜間手術がある場合は対応できるようにしているが、今後救急件数が増えてくる場合は複数対応できるように予定はしている。

(2) 今後の管理運営協議会の運営について

（資料3）今後の管理運営協議会の運営について、スケジュール案を説明した。今年度の開催は9月、2月の2回開催、それ以降は原則年3回（6月、10月、2月開催）を予定している。今後年度初回の会議では原則として当該年度の事業計画及び前年度の事業報告や病院事業計画の実施状況について報告し意見をいただく。以後の会議について、一つは前回以後の病院運営状況について質疑、次に設定したテーマについて意見交換をいただく、最後にその他病院の管理運営に関することについて議論していただく予定。

質疑

- 【小紫会長】 どのような形で市民と連携した病院運営ができるのかテーマごとに掘り下げて議論をいただくような意見交換が次回以降のメインになってくる。次回テーマとして、何点か事務局で案はないか。
- 【事務局】 市立病院を知っていただくということでPRを兼ねたイベント的なこと、例えば壁面を使ったモザイクアートで病院に親しみを持っていただく。また、患者さんの癒しを目的に吹き抜け部分を使った空間デザインの募集などが考えられる。

- 【小紫会長】 多くの市民に市立病院を知っていただくようなPR方法についての議論や来院者の快適性を高める方法、例えば病院にあったらよい機能設備や事務局が提案したアート絵画等の展示など市民が参加できる方法について議論してはどうか。また、次回会議に向けて会員の皆様にも知恵を出してもらいたい。場合によってはテーマを議論する前に専門家の話を聞いて議論することも考えている。
- 【藤堂会員】 病院のことを知ってもらうことは重要なテーマだと思う。そこで、次回までに今まで病院又は市が行ったPRの取組状況やその効果について教えてほしい。また、会員も市民から意見等聞く機会があれば会議前に事務局に伝え、他の会員に資料として周知してもらった方が効率的に会議が進められる。
- 【成田会員】 市民の声をアンケートで聞く仕組みが市議会の委員会で報告されたと思うが。
- 【今村副会長】 市民の意見については意見箱やホームページ又は当協議会などいろいろなチャンネルから聞いていきたい。
- 【小紫会長】 次回については、市立病院をどうやって知っていただくか足を運んでもらうか等市民に対するPRのあり方をテーマとして議論していただきたい。

(3) その他

- 【原田会員】 病院を利用する市民として検討してほしい具体的な話として3点ある。まず待合にテレビがない。将来的に混み合ってきたときテレビが必要ではないか。次に、病院へ入る通路について、歩行者用通路の案内看板が小さく、また植木もあり分かりづらい。最後に、正面玄関に傘袋を設置されているが、今は手動で水切りするようなものもある。ゴミが出るような傘袋は環境に良くないのではない。以上3点についてどう考えているのか。
- 【事務局】 テレビについては現在1階売店前に1台と健診センターに1台あり、大腸カメラの待合に1台設置できる工事を行っており、外来待合にも設置を検討していきたい。歩行者導線サインについては大きいものに替えていきたい。傘袋については院長含めて検討したい。
- 【成田会員】 市の健診が現在市立病院でできないが、速やかにできたらよい。病病、病診連携は市の医師会に要請されているのか。今後どのように進めていこうと考えているのか。
- 【今村副会長】 市の医師会の先生とは連携をはかるために医師会に入会を申し込んでおり10月か11月に入会できるであろう。市の健診は市が医師会に委託しているので、医師会に入会后健診できると聞いている。医師会の先生は順次訪問して病院の説明をしている。先日病診連携談話会を開催し、患者を紹介するためにはどうすればよいか等の話し合いを行った。
- 【藤堂会員】 開催時間について、医療従事者の方の勤務の都合で今回の開催時刻になったと聞いているが、何らかの調整がついてもう少し早い時間で開催できるのであれば検討してもらいたい。
- 【小紫会長】 今後事務局で調整して会員の皆様にお知らせしていく。
- 【藤澤会員】 市の医師会に入っていない開業医の先生も協議会に入れることはできないか。
- 【小紫会員】 協議会の会員の想定としては医師会の方を考えているが、別に地域医療連携の会議も考えているのでそちらの方に入っていたか、医師会に入っていない方の意見をいかに反映していくかは重要なポイント

なので会員の意見もふまえていきたい。

6 閉会